

まとあと 094 変更点

なな

2021 年 6 月 7 日

1 初めに

まとあと 094 で追加した機能は以下の通りです。次章より解説をします。

- 1 まとあとの警告文を txt に記述
- 2 「section*」を簡単に挿入
- 3 「複」コマンドの実装
- 4 サブディレクトリのファイルを引数に指定しても実行可能

2 まとあとの警告文を txt に記述

図 1 のようなまとあとの警告文は今まで tex ファイルにしか記述されていませんでした。そこで txt でも確認可能なように変更しました。vscode では確認済みですが、他のエディタでも可能かどうかはわかりません。もし不要な場合やバグが発生した場合、`$S_WARNING` を 0 にしてください。

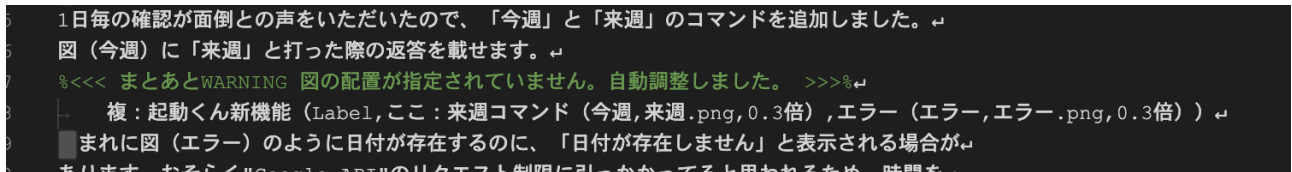


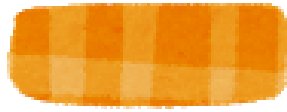
Fig. 1 まとあと警告

3 「section*」を簡単に挿入

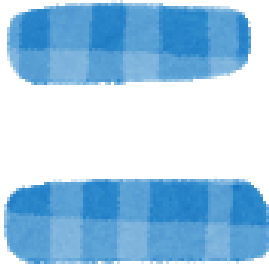
今まで `\section*{}` を入れるには直接打ち込むしかありませんでした。そこで「章*：」と打ち込むことで「`\section*{}`」と変換できるようにしました。「節*：」や「節節*：」も可能です。

4 「複」コマンドの実装

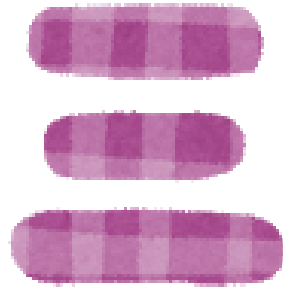
「縦」や「横」のコマンドがありますが、これらは $1 \times n$ か $n \times 1$ の形にしか画像を配置できませんでした。そこで「複」のコマンドにより $m \times n$ の形にも画像を配置できるようにしました。



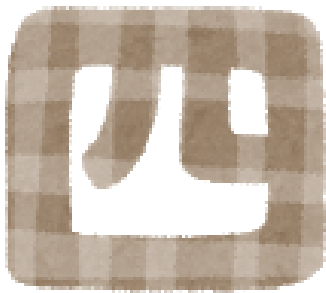
(a) 1 枚目



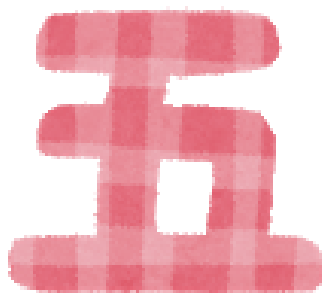
(b) 2 枚目



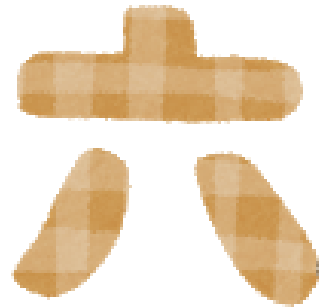
(c) 3 枚目



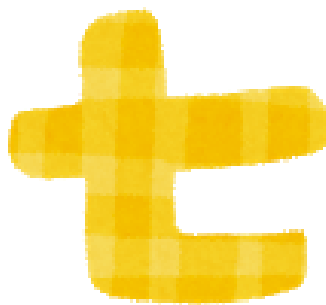
(d) 4 枚目



(e) 5 枚目



(f) 6 枚目



(g) 7 枚目

Fig. 2 複数画像

図2にその様子を載せました。コマンドとしては「\t 複:複数画像(複数, ここ:1枚目(1,1.png,1.0倍),2枚目(2,2.png,1.0倍),3枚目(3,3.png,1.0倍),4枚目(4,4.png,1.0倍),5枚目(5,5.png,1.0倍),6枚目(6,6.png,1.0倍),7枚目(7,7.png,1.0倍))(1,2,3,1)」で、「縦」や「横」と変わりません。「縦」や「横」と異なり、最後に全角括弧で一行に何枚配置するかを指定するだけでオッケーです。引用も図2(b)のように今まで同様いけます。また配置を自動調整することも可能です。配置を指定しなかった場合や、配置と枚数が合わない場合は自動調整されます。

5 サブディレクトリのファイルを引数に指定しても実行可能

まとあと実行時に「perl matoato094.pl ./Documents/test.txt」などすると(おそらく)エラーが発生しました。それを想定通り実行できるようになったため、カレントディレクトリからサブディレクトリのファイルをまとあとに通すことが可能になりました。これにより「subfiles」のパッケージを利用して一つの文書を分割したtexにより作成が可能になりました。